

解剖学者の養老孟司氏とノンフィクション作家の高橋秀実氏の対談に「いくら理不尽でも、妻から言われたことに夫が口ごたえすると大変なことになる。結局、聞き流すほうがいい」とありました。決めのセリフは「奥様のおっしゃる通りでございます」。人間をよく知る二人の専門家の意見には説得力がありますね（笑）。

今さら聞けない 経済用語

【今月の教えてキーワード：ESG】

環境（Environment）・社会（Social）・企業統治（Governance）の頭文字を取ったもので、これらの各分野に適切に対応することが経済の長期的な成長につながり、結果的に持続可能な社会を作ることになるという考え方。近年、世界的に広まりつつあり、ESGの視点を企業統治に取り入れる企業も増えている。機関投資家が、従来の財務情報だけでなくESGも考慮しながら投資先企業を判断する手法は「ESG投資」と呼ばれている。

社労士がズバリ! 職場のQ&A

【「退職願」「退職届」「辞表」の違いを教えてください】

Q: この春、事務機器メーカーに入社しました。入社して2カ月ほど経った頃に仕事が辛くなり、会社を辞めようと思った時期がありました。先輩や上司のフォローのおかげで今は仕事に楽しく取り組めるようになりましたが、そのときに「退職願」と「退職届」と「辞表」はいったい何が違うのか?と、ふと疑問に思いました。言い方が違うだけで内容は同じなのでしょうか?

A: 「辞表」という言葉はよく耳にしますが、これは会社役員や公務員など委任や任用による契約を辞める場合に用いるもので、一般的な労働契約の場合は「退職願」や「退職届」を使います。退職願とは、その名のとおり労働者側から「退職を願い出る」もので、会社が退職の願い出を聞き届けるまでは撤回は可能と考えられます。このため自己都合による退職の場合は、退職願を使います。一方の退職届は「退職を届け出る」もので、会社に対する本人の最終的な意思表示であり、提出時点で雇用契約の終了となるため通常、撤回はできません。解雇や退職勧奨など会社都合で辞める場合には退職届を提出します。失業給付を受ける際の退職理由では、自己都合か会社都合かで給付内容が異なるので注意しましょう。



今を生きる 先人の言葉

私達の財産、それは
私達の頭の中にあります

オーストリアの音楽家であるモーツァルトの言葉。金品はあの世へは持って行けない。使えば使うほど増えて後世にも残せる財産、それは皆、絶えず携帯している。

～季節の変化～

8/28～9/1頃は、天地始肅（てんちはじめてさむし）と言い、「肅」には縮む静まる、弱まるという意味があり、夏の暑さもようやくおさまってくるなどといった意味だそうです。全体的には冷夏だったこの夏。後半で暑さが盛り返したりと波もありますが、いよいよ夏の終わりを感ぜられるようになりました。窓から吹き込んで来る涼しい風、聞こえてくる虫の音にここ数日、移ろいゆく季節の変化を感じます。普段何気なく歩いている道のりでも、ふと足を止めて空の色や雲の形、風にゆれる木の葉など微妙な秋の変化を感じてみてはいかがでしょうか。自然と心も体もリラックスでき、心地よい気持ちになれるかもしれませんね。



365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【聞くときは心を込めて】

商売の極意を尋ねられて「聞くこと」と答えたのは、ベテラン経営者のT氏です。

極意のきっかけは、その昔、夫婦で泊まった温泉宿とのこと。

その宿は人里離れた場所に一軒だけぽつんとある民家のような旅館で、予約の電話をしたときに部屋にテレビがないと聞かされたときは「夫婦二人で間が持つだろうか」と心配になったそうです。ところが行ってみればなんてことはなく、遠くから聞こえるホトトギスの声、山里を吹き抜ける風の音、その風が木々を揺らせばサワサワと葉音が鳴り、夜は夜で耳を澄ませば「静けさ」という音が聞こえてくるようで、今までにないくらい心休まるひとときだったといひます。何よりの発見は「奥さんの声」だったそうです。普段はテレビに奪われていた耳を奥さんに向けたことで「この人はこんな声だったのか」と改めてしみじみしたのだとか。そのせいか、いつもなら何となく聞き流す奥さんの話を、その

夜は耳を傾ける気持ちで聞いたそうです。「そしたら不思議なんだけど奥さんの表情がやわらかくなって。そうなるこっちも笑顔になるから自然と会話が弾んでね。翌朝には恥ずかしながら手をつないで朝の散歩を楽しんだよ」。散歩の途中、いつもより優しい声で話している自分に気付いたT氏は、いつもより晴れやかな



な笑顔を向ける奥さんを見て思ったそうです。自分は今までどんな態度でお客さまの話を聞いてきただろう。どんな風にお客さまに話し掛けてきただろう――。

詩人の山崎佳代子氏はかつて、講演でこんな話をされました。「声は人の魂を結びつける。声を出すときはみんなに届くように出し、声を聴くときは心を込めて聴く。この二つが欠けると社会はほころびる」。

伝えたいことがお客さまに届くように話し、心を込めてお客さまの話に耳を傾ける。この二つが欠けると商売もほころびてくるかもしれません。話したり聞いたりとは毎日のことです。どんな態度で、どんな心持ちで行うか、それが大事なのではないでしょうか。

～ 今月の税務・労務 ～

国税

特別な処理事項なし

地方税

特別な処理事項なし

労務

特別な処理事項なし

和泉会計事務所

〒170-0013

豊島区東池袋 1-25-2

朝日生命池袋ビル 9F

電話：03-3984-9595

FAX：03-3988-0835

